



■■■ 速報！大学院教育にリモートセンシングコース誕生 ■■■
 ～ 平成29年4月、融合理工学府設置へ～

千葉大学では、平成29年度（2017年度）から、理学研究科、工学研究科及び融合科学研究科に分かれていた理工系大学院教育組織を「融合理工学府」に統合する改組を計画しておりましたが、文部科学省から、その設置が認められました。また、工学部は「総合工学科」1学科制に変わります。これにともない、新設される「融合理工学府」の中に新しい専攻として「地球環境科学専攻」が設けられ、その中に、CEReSの教員全員が参加して新しい「リモートセンシングコース」が誕生します。CEReSでは、これまで20年以上にわたる環境リモートセンシング分野における研究・教育を踏まえ、これからの時代のリモートセンシングを担う人材育成を今以上に行って参ります。

【参照】[千葉大学理工系大学院の改組（平成28年9月1日公表）](#)
[千葉大学工学部の改組について（平成28年9月公表）](#)

現在と改組後の体制の関係



The 16th Workshop on SAR Image Processing

~ Chiba University Summer School on Microwave Remote Sensing ~

The 16th Workshop on SAR Image Processing and Chiba University Summer School on Microwave Remote Sensing were held on 1-3 August 2016 at Academic Link, Chiba University's Library. This activity was done by Josaphat Microwave Remote Sensing Laboratory (JMRS�) in Center for Environmental Remote Sensing (CEReS), Chiba University. Participants joined this activity from Japan, Indonesia, Egypt, Malaysia, Ghana, China, Korea, and Mongol, totally 45 of staffs and students. The objective of these activities is boosting the knowledge and experience of participants on microwave remote sensing technology, particularly development on synthetic aperture radar (SAR) in hardware, software, and applications.

This lecture introduced planetary system, history of SAR, SAR observation modes, frequency allocation for SAR, SAR image's pixel generation (range compression and azimuth compression), designing spaceborne and airborne SAR system, and applications of SAR using Interferometric SAR (InSAR), Polarimetric SAR (PolSAR), PSInSAR (Permanent Scatterer Interferometric SAR).

We also introduced our developed SAR system on L, C and X bands for unmanned aerial vehicle (UAV), aircraft (Boeing 737-200), and microsatellite (Lapan-Chibasat), and the facility for microwave remote sensing for global land deformation monitoring.

* Activities of JMRS� : <http://www2.cr.chiba-u.jp/jmrsll/>



Prof Josaphat gave lecture on Summer School on Microwave Remote Sensing



Participants of Summer School in first day, they came from several countries

■■■■■ 文部科学省国立大学法人支援課長 視察 ■■■■■

平成 28 年 10 月 26 日（水）、文部科学省国立大学法人支援課の氷見谷課長が千葉大学西千葉キャンパスを視察されました。今回は 4 月に新設された国際教養学部を中心に、大学附置の研究センターとして当センターも見ていただきました。

CEReS からは久世副センター長が案内役として、第 3 期中期目標・中期計画期間における CEReS プログラム研究課題の重点課題のうち、「先端マイクロ波リモートセンシング」と「ひまわり 8/9 号データを活用したリモートセンシング手法の開発」の取組を紹介しました。



■■■■■ 中国、トルコ、モンゴルの大学一行が CEReS 見学 ■■■■■

Xinjiang University、Ankara University、Isparta University、Mongolian Academy of Science

平成 28 年 10 月 27 日（木）に、新疆大学（Xinjiang University）をはじめ、トルコ、モンゴルの大学の一行が CEReS を見学されました。今回訪問された方々は、各大学の教授・研究員・学生など総勢 17 名で、東京の日中友好会館で開かれた“The Fourth International Conference on Water, Ecosystems, and Sustainable Development in Arid and Semi-arid Zones(WATARID IV)”（第 4 回乾燥・半乾燥地域における水、生態系そして持続的な開発に関する国際会議）に参加するため来日されました。この会議のオーガナイザーの一人である九州大学の鹿島薫教授と当センターの近藤教授は専門分野が近いこともあり見学の運びとなりました。忙しい日程の合間をぬってでしたが、CEReS の主要設備のうち、屋上観測室設置の気象データ取得用 PPI（Plan Position Indicator）ライダーなどを案内しました。皆様興味津々の様子で、CEReS の研究の一端に触れていただけたことは、今後のさらなる国際交流につながる有意義な時間でした。



行に説明する Jamrud 氏（博士課程在籍）と見守る久世教授